

調達戦略的ソーシング業務を支援する「TWX-21 Source to Contractサービス」

調達活動の最適化が企業競争力を高めるための重要課題となっています。そこで日立はTWX-21の新たなサービスメニューとして、S2C※1業務をサポートする「TWX-21 Source to Contractサービス」を提供。企業グループ全体でサプライヤーの評価や契約交渉などの知見を共有することで、S2C業務の戦略的な高度化を支援していきます。

※1 Source to Contract

戦略的なソーシング活動を支援するサービスを提供

経営のグローバル化や、外部調達率の向上といった環境変化にともない、企業の調達部門には抜本的な調達コストの低減に加え、供給の安定化やリスクアセスメントなどの観点もふまえた戦略的な調達活動が求められています。

しかし、アジア地域では調達活動のうち、見積もり依頼・発注・請求書発行・支払いなどを担うパーチェシング(P2P※2)領域でのデジタル化は普及している一方で、

サプライヤーをはじめとする取引先の選定や評価、交渉によって最も適切なサプライヤーとの取り引きを獲得するソーシング(S2C)領域のデジタル化は、欧米に比べて遅れていることが指摘されています。

またS2C業務では、国や地域の調達部門、さらには個人ごとに個別最適化が図られているケースが多く、グローバルに展開する企業グループ全体の知見を蓄積し、より競争力の高いバリューチェーンを構築するうえでの大きな課題となっています。

そこで日立は、これらの課題を解決するため、戦略的なソーシング活動を支援し、S2C業務全体の可視化と効率化、標準化を実現する「TWX-21 Source to Contractサービス」の提供を開始しました。

※2 Procure to Pay

日立のノウハウを活用し、迅速なサービスインを実現

日立は2018年、戦略ソーシングアプリケーション市場のリーディングカンパニー※3

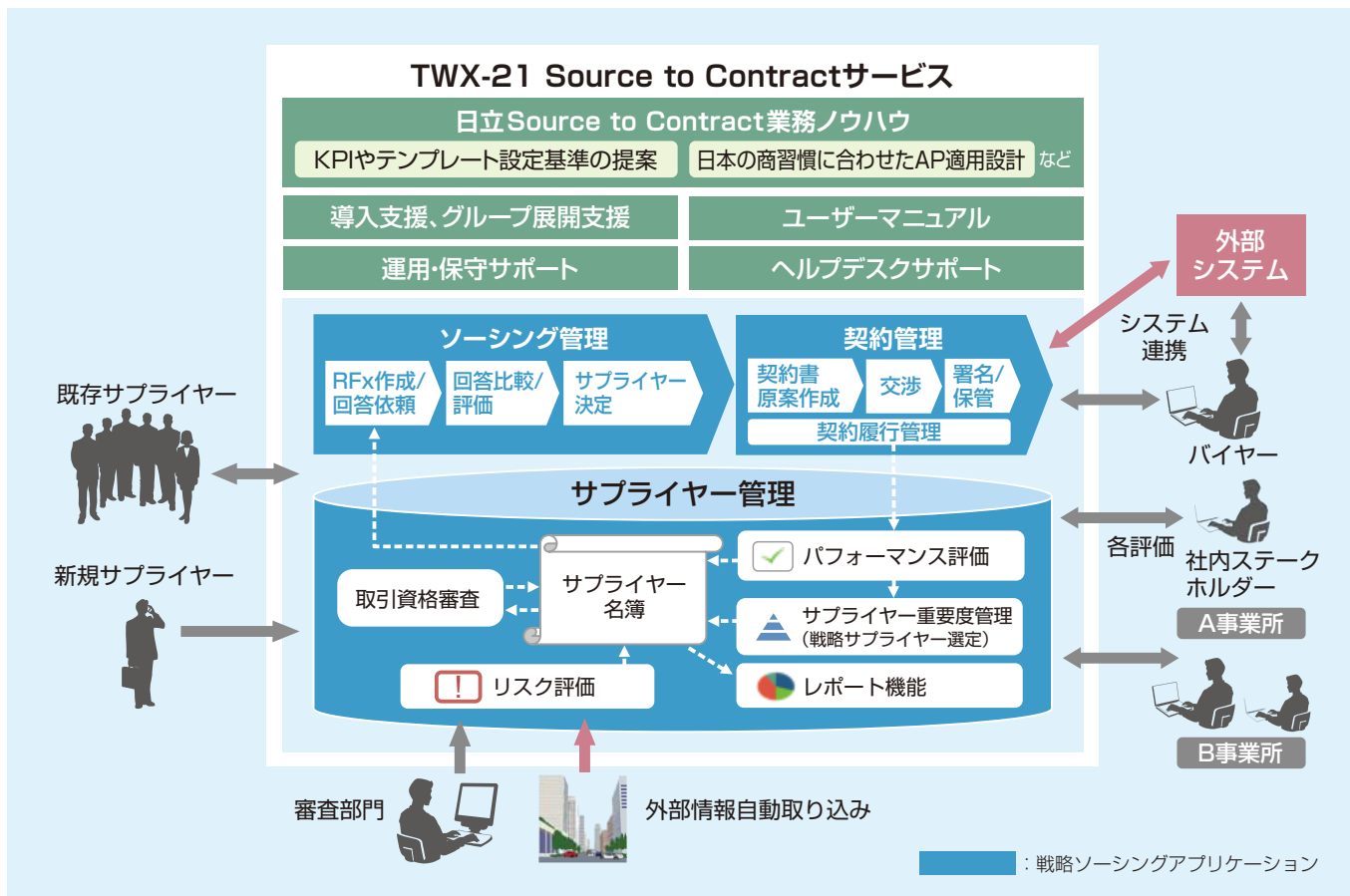


図 「TWX-21 Source to Contractサービス」の概要

である米国JAGGAER社のS2Cアプリケーションを導入。日立グループ全体のS2C業務の一元管理による業務プロセスの可視化に加え、担当者間のサプライヤーの評価、契約交渉などの知見を共有することによる調達業務の高度化を推進してきました。

この自社導入で得られた多くのノウハウと知見、JAGGAER社 S2Cアプリケーションの導入支援サービスを合わせてお客さまに提供するのがTWX-21 Source to Contractサービスです。

※3 [Gartner 2018 Magic Quadrant for Strategic Sourcing Application Suites]において、実行能力(Ability to Execute)で最高点を記録し、戦略ソーシングアプリケーション市場のリーダーと評価

■日立のノウハウを活用し、 導入支援・運用保守をサポート

業務プロセスの改善や標準化を支援する業務コンサルティング、KPI※4・テンプレート設定を含めたワークフローの設計、SEサポートやユーザーマニュアル、ヘルプデスクの提供など、導入から保守、運用まで一貫したサービスを提供します。

加えて、日本の商習慣を加味したS2C業務プロセスの適用を、日立が自らの導入で培った経験・ノウハウをベースに支援するため、お客さまは迅速に世界標準のS2C業務を実現することが可能です。

※4 Key Performance Indicator

■さまざまな情報から スコアリングを行うサプライヤー管理

コンプライアンスやソーシング案件への対応状況、実案件から蓄積される納期順守率や不良率などの実績、資格審査やリスク審査結果など多種多様な情報に基づいてサプライヤーごとにスコアカードを作成、更新することができます。これによりお客さまは、継続的かつ多角的にサプライヤーを評価することが可能になります。

また、サプライヤーとの協創、育成を通じた開発プログラムを策定し、サプライヤーにおけるパフォーマンス向上やリスク低減を協働で進め、戦略的なパートナーシップを構築することができます。

■サプライヤー選定から取引合意、 契約までのプロセスを支援

継続的かつ多角的に評価したサプライヤー情報を活用し、サプライヤーへの要請書であるRFx※5を作成、回答の依頼やサプライヤーからの回答を入手することが可能です。RFxで選定したサプライヤーと契約書を締結するためのドラフト作成から交渉、署名などの機能も提供します。

※5 RFI: Request for Information, RFP: Request for Proposal, RFQ: Request for Quoteの総称

■APIを活用した周辺システムや サービスとの連携

外部の企業情報データベースや企業内のERP※6、TWX-21などのP2P向け各種サービス※7など、周辺システムと連携可能なAPI※8を用意しています。これにより、企業情報データベースの情報を取り込んでサプライヤー情報を充実させるとともに、自動でサプライヤー評価情報を更新することができます。また、TWX-21 Source to Contractサービスで実施したソーシングや契約の情報を企業内のERP、TWX-21などのP2P向け各種サービスに連携することで、S2CからP2Pにまたがる調達プロセス全体を一元的に管理できる環境の構築が可能です。

※6 Enterprise Resources Planning

※7 EDIサービス、Web-EDI Globalサービス、クラウド型購買サービス、e-sourcing/MRO集中購買サービスなど

※8 Application Programming Interface

日立は今後、自社導入で培ったS2C業務プロセスの標準化や、サプライヤーリスクアセスメント体制の整備および業務集約などの取り組みをサービス化してお客さまに提供するとともに、ますます重要となるS2C人財の育成やスキルアセスメントの実施などについても、お客さまを支援するソリューションを提供していく予定です。

お問い合わせ先・情報提供サイト

(株)日立製作所 IoT・クラウドサービス事業部
<https://www.twx-21.hitachi.ne.jp/>